

三浦市立剣崎小学校

研究テーマ：「子どもの豊かな学力を育む学びを目指して」

～学びのプランを活用した授業づくりと「えななみタイム」の実践・交流学习を通して、
主体的に学習に取り組む子を育てる ～

1 実践の目的

昨年度、意欲的に学習に取り組む子を育てるために、国語と算数の基礎基本の定着と普段の授業改善を目的として、研究を進めてきた。その結果、児童が学習に対して興味を持ち、積極的に取り組む姿が見られた。本年度はより意欲的に児童が学習に取り組むことができるように、学びのプランを活用した授業づくりや、国語と算数の基礎基本の定着を目指すこととした。具体的には「学びのプラン」の活用を授業研究の重点として取り組み、児童と共に授業づくりを行い、主体的に学習に取り組む姿勢を育てていきたいと考えた。また、朝の学習の時間に「えななみ算数タイム」「えななみ国語タイム」の実践を行い、基礎基本の学力を児童に身に付けさせ、学習に対してより意欲を持たせたいと考えた。交流学习では、日常の授業や校内の異学年交流、校外の交流を通して児童が学びの達成感や自信を持ち、自らの思考を広げ、学習内容を積極的に伝え合う児童の姿を目指し実践した。

2 実践の内容

(1) 校内研究の組織・取り組み

研究推進委員会を中心に、全教員で研究授業、研究協議会を行った。全教員が公開授業を行い、授業前には模擬授業を行い、授業改善を目指した。教員の数も少ないため、できる限り全教員で模擬授業・研究授業に関

わり、全員で研究に取り組む機会を設けた。

(2) 校内研究の具体的取り組み

本年度は「学びのプランを活用した授業づくり」と「えななみ算数タイム」「えななみ国語タイム」を通して、主体的に学習に取り組む子を育てることを目指して研究を進めた。

「学びのプランを活用した授業づくり」とは、児童と共に単元の進め方を考え、ふりかえりを行い、より児童が主体的に学習に取り組めるように授業づくりを行うやり方である。全教員が模擬授業、研究協議会を行い、よりよい授業づくりに努めた。

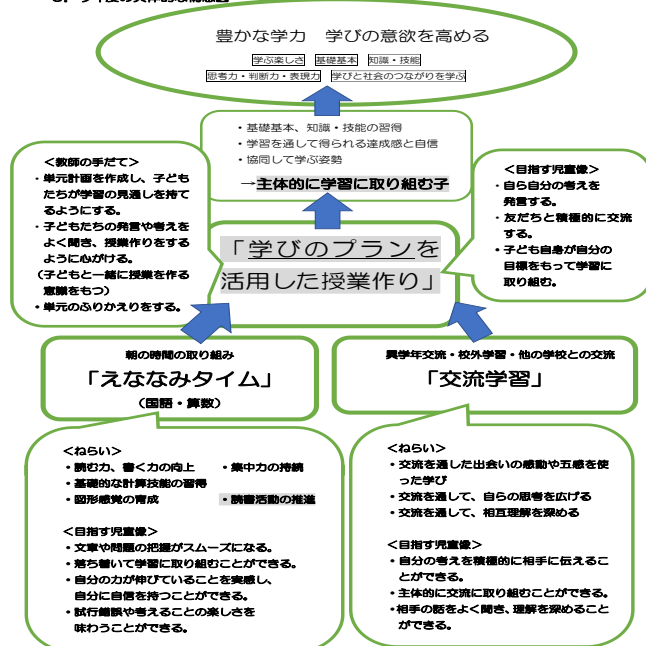
「えななみ算数タイム」は毎週火曜日の朝の時間に全校で計算プリントやタングラムなどの算数的活動に取り組んだ。内容は児童の実態に合わせ、担任が算数プリントなどを用意し、基礎力の向上を目指した。タングラムなどの算数的活動についても各クラスの児童の実態に合わせ、担任が内容を考えて行った。具体的に取り組んだことを研究全体会で共有し内容の充実に努めた。

「えななみ国語タイム」は毎週木曜日の朝の時間に全校で国語の読む力・聞く力・書く力をのばすために、児童の実態に合わせ、担任が内容を考えて行った。「えななみ算数タイム」「えななみ国語タイム」の取り組みは紙ファイルで保存し、取り組みの成果を児童がふりかえることができるようにした。

交流学习は、校内交流と南下浦小学校と

の交流を中心に行った。年度当初に、各学年が交流の計画を立て、児童の学習の成果の発表などを行った。

3. 今年度の具体的な構想図



3 実践の成果と課題

(1) 校内研究の組織・取り組み

全教員で、計画的に模擬授業、研究授業、研究協議会を進めることができた。全教員が公開授業に取り組むことで教員同士の学び機会が増え、日々の授業改善につながった。特に模擬授業では、教員同士の活発な議論が行われ、授業者だけではなく、教員全員で授業づくりに取り組むことができた。

(2) 校内研究の具体的な取り組み

授業研究では「学びのプランを活用した授業づくり」を目指し、様々な取り組みを行い、児童が主体的に活動する姿を見ることができた。具体的には、調べ学習では調べる方法を児童と考えたり、学びのプランのワークシートを常に意識できるようにノートに貼ったりしたことで、児童が意欲的に考えを伝え合うことができた。また、

次の授業につながる「ふりかえり」を行ったことにより、子どもたちの考えを知ることができ、次の授業への子どもたちの意欲づけになった。始めのうちはなかなか書くことができなかった児童も次第に自分の考えを書くことができるようになった。「学びのプラン」の児童用を作成したことで、教師側も児童も見通しを持って学びを進めることができた。児童用の「学びのプラン」はもっと児童にわかりやすいものに改善していく必要があることもわかった。

「えななみ算数タイム」「えななみ国語タイム」では、担任が児童の実態に合わせ、プリント学習や読書などを毎週行い、基礎基本の定着に努めた。また、今年度は「読書タイム」を全校一斉に行った。研究全体会で各クラスの取り組みを紹介し合い、効果のある取り組みについては、教員同士が共有し学習内容の充実に努めた。

交流学习では、各学年様々な教科の学習成果を異学年交流や他校との交流で発表した。具体的には海の生き物観察や学校紹介、各学年の総合学習での成果や運動会の表現の発表など、交流計画をあらかじめ具体的に決めることによって、活発な実践を行うことができた。

4 今後の展開

(1) 校内研究の組織・取り組み

来年度、南下浦小学校との統合を控えているが、本年度同様、全教員が公開授業を行うことを継続したい。研究授業を行うにあたり、模擬授業を行い授業力向上に努めていきたい。来年度も基礎基本の定着と日々の授業改善により主体的に学習に取り組む子を育てることを目指し研究を進めていくが、具体的な内容については次年度検討していく。

(2) 本年度の課題と今後の研究の方向性

授業研究については「学びのプラン」に重点を置いて研究を進め、ウェビングマップなどの思考ツールなどは児童の思考を整理するために有効であることがわかった。また、ふりかえりを行うことで、児童の考えを知ることができ、次の授業に対しての児童の意欲につながることもわかった。今後もこの「学びのプラン」を児童の実態に合わせて改善し、実践していきたいと考える。来年度も基礎・基本の定着と日々の授業改善により主体的に学習に取り組む子を育てることを目指し研究を進めていくが、朝学習を全校一斉の内容ではなく、各学年の児童の実態に合わせたものにして、より充実したものにしていきたい。また、自分の考えをうまく伝えることが苦手な児童も多いので、来年度も積極的に自分の考えをもち、伝えたいと思う気持ちを育てていきたい。